ＮＰＯ法人
子どもの虐待防止ネットワーク・かがわ
ニューズレター　No.30

地域で子育てを応援したい！

みゆき助産院を取材してきました。

地域を見守ってきたような大きな桜の木に見とれていたら、「いらっしゃい」とあたたかな声が。みゆき助産院の竹内美由紀さんが笑顔で迎えてくれました。

竹内さんは、NPO 法人子どもの虐待防止ネットワーク・かがわの会員で、助産師さんです。病院で 13 年間助産師として勤務した後、看護専門学校や看護大学で助産師教育に 26 年携わり、学生と一緒に妊産婦さんに寄り添い、助産の現場をずっと見てこられました。そして、61 歳の時に助産院開業を目的に教育現場を退職しました。

Q　開院しようと思ったきっかけは？

・入院期間が短くなっていることや新型コロナウイルス感染症で母親学級など複数の人が集まる場が制限され、これまで得られていたさまざまな情報を得ることが難しくなった上、出産しても夫や家族と面会できないという妊娠・出産・育児環境の変化の大きさを感じたからです。

病院内で“孤立”した母親は、「早く家に帰りたい。子どもを夫に見せたい。」という思いで産後 4 日目、お乳がやっとはった頃に退院します。退院したら「赤ちゃんがうまく吸ってくれない。寝ない。お乳がたりないのかな。どうしたらいいの。」と不安がいっぱいで、退院してからの子育てが楽しいと思えないという声や、せっかく出るようになったお乳を不安のためにミルクに移行するという現状への危機感です。

Q みゆき助産院はどのような場ですか？

・分娩は取り扱いませんが、地域で産後をサポートする場です。

子育てに正解はないと思っています。自分と子がマッチして、子が成長したらいい。子育てを楽しんでくれたらいいなと思う。例えば、1+1＝2　だけど　0.1＋1.9 も 2 になる。いろんな方法がある。いろいろやってみる。次の日それがうまくいくかどうかはわからない。子どもは、その日によって飲みたい量もちがうから。

私は、「うまくできとるな」と見守る人。目安のみ伝える。その人に合わせた指導をしていきたい。

・今後、イベント的に利用者が交流できる場を企画し、みゆき助産院を居心地の良い家にしたい。利用した人が先輩ママやパパとして参加できるような、先輩ママの活用なども考えています。

Q 地域にどのようなことを期待されている？

・産後ケア事業ができる施設（宿泊型）が西讃の方になかったので、近くの人には便利になると思う。

■産後ケア事業とは、産後に家族などから十分な家事や育児などの支援が受けられず、心身の不調や育児不安の方などに対して、助産師等の専門職が赤ちゃんとの生活をサポートします。一定の期間、市町が委託した医療機関や助産院に宿泊や日帰りですごし、休養をとったり、母乳管理、育児の指導を受けることができるサービスです。

・保健師さんと連携をとっているので、うつ、育児不安がつよいなどハイリスクの人の紹介があると思う。また保健所での市町の連絡会や、周産期にかかわる関係機関の集まり、こんにちは赤ちゃん事業の事例報告会などの場で母子の声を反映していきたい。

インタビューを終えて

竹内さんは、不思議な力の持ち主でした。それはプロとして培った技術かもしれませんが、インタビューした私が話を聴いてもらったような心の満足感がありました。「お会いできてよかったなあ。」　KN

竹内美由紀さん（助産師・保健師・看護師）
みゆき助産院: 産後ケア・母乳育児相談・子育て応援ハウス
仲多度郡多度津町奥白方 1183
TEL 080-4033-3855
E-mail miyukijosan3855@gmail.com

活動報告

2022 年度は、赤い羽根共同募金"子どもの虐待を防止するためのプロジェクト募金" 並びに、多くの方々からのご寄付により活動することができました。また 2023 年 1 月～3 月実施の"子どもの虐待を防止するためのプロジェクト募金" は 2023 年度の活動に使わせていただきます。心より感謝申し上げます。

ー子育て個別相談ー（子どもの虐待防止に関する相談事業）

■利用をご希望の方は、事務所までご連絡下さい。☎087-888-0758

・毎週火曜日の10時～13時の間、当会事務所において個別相談をしました。
地域の一つの居場所になればと思っています。
相談室には、絵本の他にも育児や子ども虐待に関する本を置いています。

・出前型個別相談：家庭に訪問してサポートしました。

※出前型個別相談の対象は、妊娠期からの家庭訪問型子育て支援「ホームスタート・おりーぶ」の利用者の内、抱えている問題が複雑で継続的な支援が必要な家庭です。担当オーガナイザー（利用者と訪問支援するホームビジター、関係機関との調整役）と専門職理事との事例検討を行い、出前型個別相談の対象とします。

ー「ひだまり」ー（子どもの虐待防止に関するグループワーク事業）

子育てに悩んでいる母親が安心して悩みを話せる場です。参加者が対等な立場で話し合い、悩みを共感しあうことで自助力を高め、自分の問題を解決できるように支援します。
原則　毎月第１土曜日 10 時～11 時 30 分に開催、参加費は母親・子ども各 100 円です。

■　年 10 回開催　利用者は延べ 63 人（母親は 24 人、子どもは 39 人）でした。

＜スタッフの一言＞

真面目で一生懸命なお母さん程、常に問題意識を持たれていて悩まれています。自分の発した言葉や接し方で子どもを傷つけたのではないか？あんな時はこう接してあげれば良かったのではと反省されます。

私は、この様に悩まれることは全て子育ての肥やしになると思っています。これは真剣に子どもと向かい合っている証だと思います。

悩んだ時は、月に 1 度「ひだまり」に来て自分の気持ちを皆に聴いてもらうと心が軽くなります。そして、いつか子どもが大人になった時、体験を子ども達と話せる関係になれるといいですね。

ー勉強会ー（子どもの虐待防止に関する啓発及び推進事業）

虐待・性被害についての勉強会

『子どもへの性暴力　～その理解と支援～』誠信書房、藤森和美・野坂祐子 編

2021 年 10 月から再スタートして、2023 年 3 月の第11回で終了しました。

大人への性暴力、子どもの時に受けた性暴力、保育や教育の場での性暴力など、性暴力被害についての報道が度々されています。性暴力は決してまれではないこと、子どもへの性暴力は被害を受けたことに気づくまで時間がかかることなど、専門家でなくても性被害に気付き手を差し伸べるために必要なことを勉強しました。これからは被害が起きてからの対応だけでなく、予防についても学びたいと思います。

DV 加害者プログラムについての勉強会

『DV 加害者プログラム・マニュアル』金剛出版、RRP 研究会　代表理事：信田さよ子

2021 年 3 月から 2022 年 9 月まで17回の勉強会で読了しました。児童虐待と DV は深く関連しています。DV 加害者プログラムの目標は、加害者が暴力をやめ、暴力に代わる行動を学び、実践していくことです。このプログラムの他にも加害者プログラムがあること、取り組みがなされていることを学びました。

トラウマについての勉強会

『トラウマインフォームドケア　“問題行動”を捉えなおす援助の視点』日本評論社、野坂祐子

2022 年 10 月から 2023 年 3 月まで6回の勉強会で、対象者の言動をトラウマの「メガネ」で見ることから始めるアプローチを学びました。トラウマの「メガネ」をかけることで見え方が変わってきます。トラウマインフォームドケアは非難や叱責を理解やケアに変える、対人援助の新しい視点です。

ー子育て講座ー

会場　　高松市ふれあい福祉センター勝賀

聞いてみよう！子育て講座 2022　　2022 年 11 月 24 日

講座
　子どもに届けたい
　家庭で伝える性といのちの話
講師
　仙頭真希子　先生（弁護士）

✿　受講者の感想（抜粋）

・子どもたちが幸せに過ごして生きていくためにという思いをぶらさずに話してくれとても参考になりました。どうしても伏せてしまったりする部分も子どもには伝わっていて、その子の今後の人生を考えると伝えていくことの大切さを知りました。

・法から学ぶ性教育は初めてで、とても新鮮でした。「子どもが自分の体に興味をもつようになること＝成長している証でうれしいこと、楽しみなこと」という話が特に印象に残りました。

・性教育は「はずかしいもの」とか、「なんとなく良くないこと」ではなく、オープンに話していけたらと思います。「親の言うことより行動を見ている」ことを忘れず、いいモデルになれるようにしていきたいです。

聞いてみよう！子育て講座 2022 パート 2　　2023 年 3 月 17 日

講座
　子育てを楽しもう
　　～離乳食から幼児食まで～
講師
　則久育葉　先生
（管理栄養士・調理師・薬膳ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ
　食育指導士）

✿　受講者の感想（抜粋）

・子どもがアレルギーで悩んでいましたが理由が分かった気がします。食には気をかけていたけど改めて改善点をみつけられて良かった。腸内環境を整える努力をしたい。

・無添加みそを選ぶこと、子どもにたくさん外遊びをさせることなど自分にできるスモールステップから始めたい。できることにはチャレンジして子ども（親も）の免疫力 UP を目指したい。

・手づかみ食べが主で、スプーンやお箸の練習に焦っていましたが、そっちに集中することで咀嚼や嚥下能力の発達をじゃまするとも聞いて目からウロコでした。長い目で見守ってあげればよいと思うと私の気持ちも救われました。

・離乳食のことだけでなく免疫の話なども含めて話して下さり、今後の食生活に気をつけてみようと思いました。

妊娠期からの家庭訪問型子育て支援「ホームスタート・おりーぶ」

■内　　容：出かけられない家庭に、研修を受けた子育ての先輩（ホームビジター）が訪問し、フレンドシップな関係でサポート(傾聴と協働)をします。
■利 用 料：無料
■対　　象：妊産婦や未就学児のいる家庭
■地　　域：香川県内
■支援回数：１週間に１回２時間程度、４回ほど訪問します。
問い合わせ・申し込み：☎080-2985-1556　　e メール kcapn9999@siren.ocn.ne.jp

2022 年度
利用者（世帯数）74（その内、妊婦　12　、多胎家庭　11　）、　総訪問回数　294 回
居住地（世帯数）高松市 58、三豊市 9、坂出市 2、丸亀市 1、観音寺市 3、宇多津町 1

Ⅰ　高松市委託事業

①養育支援訪問事業　（2020 年 4 月から受託しています。）

○訪問状況：利用者(世帯数)58　、総訪問回数 253 回

○ホームビジター養成講座の開催

日時・期間:9 月 1 日～10 月 27 日(木・土)9:30～16:00　計 9 日間
会場:高松市仏生山交流センター 研修室
受講者:5 名

○ホームビジターフォローアップ研修（2022 年度登録ホームビジター37 名）

1) 日時:7 月 8 日(金)10:00～12:00
会場:香川県青年センター
テーマ:「離乳食を通しての子どものからだづくり」
講師:管理栄養士　則久育葉　氏
参加者:12 名(内訳:ホームビジター6, 利用者 1, オーガナイザー5)

2) 日時:3 月 9 日(木)9:30～12:00
会場:田村文化センター
内容:オーガナイザーとホームビジターとの交流会、各種報告ほか
参加者:15 名(内訳:ホームビジター10, オーガナイザー5)
※　オーガナイザーとは、利用者とホームビジター、他機関との調整役

②多胎妊産婦支援事業　（2020 年 12 月から受託しています。）

■内　　容:育児支援・家事支援・外出支援　　■利 用 料:無料
■対　　象:高松市内の多胎妊婦・多胎家庭　　■支援回数:年間 10 回・3歳まで最高 30 回

○訪問状況:　11 家庭　訪問回数　41 回　（平均 3～4 回/月）

Ⅱ　三豊市委託事業

① 産前産後サポート事業　（2021 年　4 月から受託しています。）

〇訪問状況：利用者（世帯数）12　、総訪問回数 54 回

「孤育てを経験して」

約８割のお母さんが育児中に孤独感を感じたことがあるという記事を目にしたことがあります。私自身も、新しい命の出会いにワクワクな毎日をおくれると思っていました。いざ、子どもが生まれてくると、子どもの声でいっきに家庭の中はにぎやかになり、外からみると一見“孤独”とは無縁のように見えていたと思いますが、孤独と不安でいっぱいな毎日を過ごしました。孤独を感じているお母さんに笑顔で楽しい毎日を送って欲しいと思っています。そして、利用者さんとホームスタート・おりーぶの仲間みんなで育児の楽しさを感じていけたらと思います。どうぞよろしくお願い致します。

三豊市地域担当新オーガナイザー　　小川寛美

新ホームビジターさんから

「研修会に参加してよかった」「訪問して楽しかった」など感想をいただきました。

まだ子どもが小さかった頃、私は思うようにいかない子育てにイライラを募らせ、時にはそれを子どもにぶつけて自己嫌悪に陥ることがありました。あの時、誰かが話を聞いてくれたらどんなに心が安らいだか

今私は養成講座を受け、サポートできる側になりました。あの頃の辛かった経験を活かし、楽しく子育てする方法をお母さんと一緒に考え、お互いにちょっぴりハッピーな時間を過ごして 2 時間後にお別れします。「ブルーのおばちゃん！また来てね！」なんて、あだ名なんかつけてもらって♡

お子さんとお母さんの笑顔が私のパワーの源です！

第 6 期生　三橋千春

軽い気持ちで受けたホームビジター養成講座でしたが、専門家の先生方のお話は、ためになるものばかり。2 カ月間、同期の明るいビジターさんと優しいオーガナイザーさんのおかげで楽しく受講できました。 講座の中で高松は転勤族の方からの依頼が多いと知り、ずっと地元で暮らしている私に、そのしんどさをわかってあげられるだろうか？と不安もありましたが、実際に訪問すると「楽しみにしてました～」「また 1 週間頑張れます！」と言ってもらえて、そんな不安も消えていきました。

これからも、頑張っているママたちが少しでもホッと力を抜けるように活動していきたいと思います。

第 6 期生　高木順子

～～～利用者さんからも、こんな感想が聞かれました～～～

子どものことは可愛いけど、なんだかしんどい。県外の実家に帰省しづらく疲れていた頃、ビジターさんと過ごす時間で、やっと肩の力を抜くことができました。

二人目を妊娠した際にも、迷わず、オーガナイザーさんに相談させていただきました。公園でともに過ごした訪問は嬉しく、心に残っています。産後も、本当に助けていただきました。あたたかいサポートに感謝し、これからも地域の方の力を借りつつ楽しく子育てしたいです。

守屋

「ホームスタート・おりーぶ　Facebook」検索

＜資料の紹介＞

生命の安全教育 【文部科学省】
　生命の安全教育とは、年代 別教材・指導の手引き(幼児期、小学校、中学校、高校)

上手にネットと付き合おう！安心・安全なインターネット利用ガイド【総務省】
　未就学児　青少年　保護者・教員　シニア　トラブル事例集　など

ネットの危険から子供を守るために【内閣府】
　普及啓発リーフレット集　フィルタリングについて　普及啓発コンテンツ　相談窓口

ネット・スマホのある時代の子育て（乳幼児編）【内閣府】

保護者がおさえておきたい４つのポイント（生徒編）【内閣府】

保護者が正しく知っておきたい４つの大切なポイント（児童・生徒編）【内閣府】

スマホ時代の子育て～悩める保護者のための Q&A～（幼児・児童編）【内閣府】

考えよう！子育てと子どもの成長とデジタル機器【安心ネットづくり促進協議会】
　～「与え方の工夫」や「心がけたいこと」を知りたいみなさまへ～

あなたは大丈夫？【公益財団法人　人権教育啓発推進センター】
　考えよう！インターネットと人権

掲示板

≪2023 年度の活動とお知らせ≫

■ **子育て個別相談**
★出前型(家庭訪問)による相談です。

■ **ひだまり**：毎月 1 回(土)10 時～11時半
参加希望者は事前にお話をうかがいます。

■ **勉強会**：毎月 1 回(金)18 時半～20 時
会場:高松市内コミュニティセンター他

■ **家庭訪問型子育て支援「ﾎｰﾑｽﾀｰﾄ･おりーぶ」**
・高松市民の方は、高松市養育支援訪問事業、多胎妊産婦支援事業として実施します。
・三豊市民の方は、三豊市産前産後サポート事業として実施します。

■ **子育て講座**：子どもの発達をテーマに開催します。詳細は、ホームページ他でお知らせします。

■ **講師派遣**：体罰をつかわない子育て、子どもの発達、子ども虐待などの講義ができます。

● **人材育成事業**:家庭訪問型子育て支援「ホームスタート･おりーぶ」のオーガナイザーとホームビジターの活動に関心のある方は、事務所までお問い合わせください。
＊ｵｰｶﾞﾅｲｻﾞｰ:利用者とﾎｰﾑﾋﾞｼﾞﾀｰを調整する
＊ﾎｰﾑﾋﾞｼﾞﾀｰ:利用者を直接支援する

≪会員募集≫

会員及び賛助会員を随時募集しております。
ホームページからでも可能です。
★正会員：一緒に活動をしていただける方
（年会費　　￥4,800）
★賛助会員・団体会員：財政面で支援をしていただける方　　（年会費　一口￥5,000）

≪寄付のお願い≫

当会の活動は会員の会費のみが定期収入となっており、事業の運営は助成金や寄付金収入に頼らざるを得ません。子ども虐待を防止するために息の長い地道な活動が期待される中での財政基盤の弱さはいつも心配の種となっております。皆様の温かいご支援を宜しくお願い致します。

＜振込先＞
郵便振替　０１６３０－５－２４３７

＜加入者名＞
（特）子どもの虐待防止ネットワーク・かがわ

≪寄付等でご支援いただいた方々です≫

国際ゾンタ高松ゾンタクラブ 様 ， 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社 様,
認定こども園春日こども園 様 ， Salon Beso 様 ， 赤い羽根共同募金「子どもの虐待を防止するためのプロジェクト募金」にご協力をいただいた皆様 ， 匿名でのご寄付やボランティアで活動支援をしていただいた皆様

ご支援有難うございました。心から感謝申し上げます。

特定非営利活動法人
子どもの虐待防止ネットワーク・かがわ
ニューズレター№30　2023 年 3 月発行

事務所　ＴＥＬ：087－888－0758　ＦＡＸ：087－888－1070
ホームページ：https://kcapn.sakura.ne.jp
Ｅメールアドレス：kcapn9999@siren.ocn.ne.jp